

「第2次亀岡市元気農業プラン」の見直しに係る意見・提言（関係機関）

	南丹広域振興局	南丹農業改良普及センター	農業委員会
1. 農業の経営安定	●《P. 4》振興策に畜産の記述がない。振興策にも記載すると分かりやすい。 ●《P. 11》米以外の品目も含めた「需要に応じた生産」を推進していく必要がある ●農業生産基盤の整備等について、農業振興地域整備計画の適正な管理と見直しの実施は、新プランでも重要な施策	●《P. 11》②品質向上とブランド化の促進による特産物の生産振興欄の「畜産堆肥の施用と疎植栽培による…」の文言削除 ●《P. 12》③多様な農業経営体の確保・育成欄に「京力農場プランの策定支援」の追加 ④ほ場整備事業の推進欄に「F O E A S等の排水改善の推進」の追加	
2. 担い手育成	●地域の農地を活用していく主体（集落営農組織等）の育成等について、国営地区に特化した記述があってもよいのではないかな。	●《P. 13》①新規就農者の確保・育成について ・「（優良）農地の確保（新規就農者への優先斡旋）と農家住居の整備について支援する（農家住宅の空き家バンクの創設、農業機械倉庫、出荷調整場の増築やリフォーム補助制度の創設等）」ことを追加。 ・同上で「経営改善に向けた個別相談、研修会の実施」を追加	●農地中間管理事業の一層の推進（借り手に対して貸し手の比率を上げる）担い手への農地の集積・集約化の推進 ●京都府 耕作放棄地・空家条例の活用 農村地域の空き家対策⇄都市住民を農業者に引き込む施策の展開（半農半Xで受け入れる。半Xによる収入確保がないと、続かない）
3. 環境の保全と農業・農村の多面的機能維持		●《P. 16》 ③地域ぐるみの保全活動や維持管理体制の推進について ・NPO法人等の地域貢献…→土地改良区およびNPO法人等…にしてほしい。	
4. 都市農村交流と地域活性化	●大消費地（京都市、大阪北部）に近接しているメリットを活かした農産物販売など、立地を活かした具体的な販売戦略等を盛り込む。	●交流の場として、農業公園もしくは出雲大神宮付近に整備する（宿泊施設、地元農畜産物を使用した農村レストランの設置、農業体験施設等）	●都市農業振興基本法の具体化
5. 地産地消と食農学習の推進			
その他	●ほ場整備が一定完了する中、ため池、用排水整備が増加するのではないかな。防災、用水確保のため、ため池整備事業の推進もいるのではないかな。 ●平地と中山間地域とに分けるなど、大きなエリア別の振興策があってもいい。	●全体を通じて、それぞれ具体的に現状と目標数字を入れてほしい【例）品目毎の生産面積、生産量等、京力農場プランの数、新規就農者数、担い手認定農家数、集落営農組織数、集落営農法人数、中間管理事業による利用権設定面積、経営体数、地元農産物を使った商品数、エコファーマー数、耕作放棄地面積数等々…】 ●目標数字を達成するために、具体的に何をするのかを記載されたい	

「第3次亀岡市元気農業プラン」

	J A 京都 亀岡広域営農センター
1. 営農組織と人材育成	●集落営農組織でも後継者が不足し、集落営農組織による農作業受託作業にも影響が出てきている。 ●地域の担い手的存在が不足し、農地を守ることが難しい状況。集落内での話し合いが必要だが後継者が参加されず前向きな意見が聞かれない。 ●「京力農場プラン」策定をきっかけに集落全体の意見を聞き、集落のあるべき方向を見つけ出すことが大切。
2. 農業基盤の整備	●国営ほ場整備事業の確実な実行と完成後の集落営農を見据えた農地地用集積が課題。 ●遊休農地解消には有害鳥獣対策と合わせてた新たな振興作物の検討も必要。
3. 多様な農業の振興	●平成30年産から生産数量目標配分が廃止される。亀岡市は集落によるブロックローテーションにより生産調整を実施してきた経過から、地域農業再生協議会が一定配分し生産調整をするべき。 ●土地利用型作物として契約ビール麦、小豆、黒大豆の生産振興。技術向上が必要。 ●農産物直売所人気に合わせ、京野菜を中心に多品目野菜の振興、消費者振興も必要。
4. 流通システムの充実	●生産、流通、消費を亀岡で完結することで農家所得の向上につながる。 ●市内直売所のPRし、亀岡市内消費者に利用してもらおう。各直売所に向けた支援の検討。 ●市内量販店での地元産農産物の取り扱い促進による、栽培面積の拡大、新規栽培者の掘り起し新たな需要の獲得に結び付く。 ●遊休農地を利用した市民農園、体験農園等の開設により消費者への農業理解を深める機会を作る。
5. 有害鳥獣対の実施	●鳥獣被害は増加傾向にあり、集落・個人での対策では投資に見合う被害低減になっていない。防除施設等の設置支援のほか、絶対個体数の適正管理が求められる。 ●継続的な有害鳥獣駆除が実施できる体制づくりと、亀岡猟友会との連携による捕獲檻、わなの増設が必要。